

間・AIDA

彦根アンドレア
ANDREA HIKONE

あいだ

設計：彦根アンドレア／彦根建築設計事務所



北面全景

江ノ電と海岸線に挟まれた土地に建つ、陶芸家とグラフィックデザイナーのための住宅である。

とにかく海が大好きで探した土地のだが、海岸沿いの国道から2列目、江ノ電沿いの山側の道に面した場所になる。南側隣地建物の隙間から、かろうじて水平線が顔をのぞかせている。

この美しくも正直で、時の流れに左右されない周辺環境に対して、建築の構造や仕上げに使う素材も同様に、率直で素直なものを用いるように心掛けた。

大谷石のアプローチから玄関を入ると、一段上がって板の間、その先は天井が一段下がって畳の間へと続く。徐々に床と天井のあいだが狭まっていき、畳の間では障子の高さそのものが天井高さになる。天井の素材も、一段下がるところでラージ合板から竹に変わる。床と天井のあいだの距離、それぞれの素材が変化することで空間が認識される。

階段を上って振り向いた時、その変化の量は最大となる。それまで、1階の空間では水平方向の展開が主であり、垂直方向には微妙な差異が認められる程度であったが、2階は垂直方向に大きく伸び、長さ10mに及ぶトップライトによって内部空間全体が光に満たされる。

全体のつくりとしては、ライフスタイルを象徴する大きな生活空間と、これをサポートするエレメントとして、階段周りを始めとする周辺部分がしっかりと支える構成になっている。

南面にテラスを持つ浴室からはもちろん海が見えているが、寝室からも壁と壁のあいだからシンプルな衛生機器で白く染められた浴室を通して、水平線まで視線が届く。

この家は箱で囲うという概念で構成されたのではなく、壁と壁のあいだ、天井と床のあいだを通して、視線と空気が建物の反対側まで抜けていく。ものとの

のあいだの物質的な距離、素材と素材のあいだに生まれる雰囲気・質感の作用によって形づくられる空間をテーマにしている。ここに集まる人々のあいだにも、さまざまな力が作用しあうことを期待して。*

ひこね・あんどれあ—建築家・彦根建築設計事務所／1987年、シュトゥットガルト工科大学卒業。1988年、團・青島建築設計事務所入所。1989年、磯崎新アトリエ入所。1990年、彦根建築設計事務所設立。
作品：岩手暖房インフォメーションセンター（1991）、T邸（1999）、HIMMEL HAUS（2002）、HYS（2003）、KST（2004）、FRK（2004）、MTM（2006）など。

■建築概要

名称：あいだ
所在地：神奈川県鎌倉市
家族構成：夫婦＋子供1人
敷地面積：167.13㎡
建築面積：66.24㎡
延床面積：143.26㎡
規模：地上3階
構造：木造
工期：2005.8～2006.3
設計：彦根アンドレア／彦根建築設計事務所
施工：成幸建設
●INAX使用商品●便器：サティス

左—2階居間・食堂 キッチンから北側を見る。階段上は書斎
下左—同見返し
下右—3階寝室から水まわり空間越しに海を望む

